

令和2年度 南丹市におけるSDGs資源循環 の取り組み

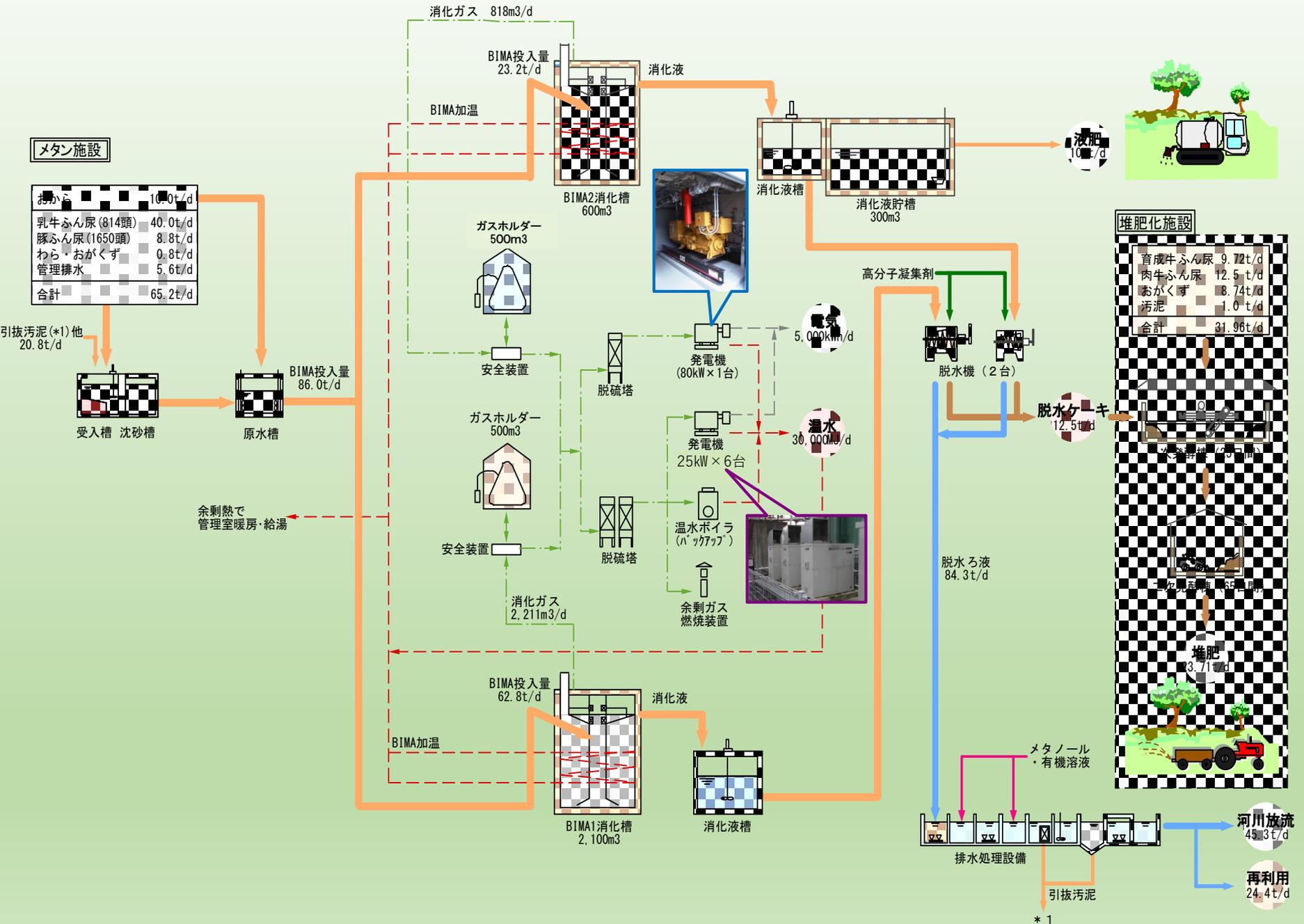
南丹市八木バイオエコロジーセンター

令和2年11月10日

あうる京北

公益財団法人八木町農業公社

南丹市八木バイオエコロジーセンター システムフロー



2019年度YBEC稼働実績

	発電	受電	売電(FIT)	YBEC使用量
発電等	1,258,804kWh	66,593kWh	306,055kWh	1,019,342kWh

	乳牛ふん尿	おから等	有機汚泥	肉牛ふん尿
家畜ふん尿等	19,759t	225t	3,384t	6,228t



 メタン発酵処理: 23,368t

堆肥処理

	堆肥製造	堆肥販売	液肥販売
堆肥・液肥販売量	8,465t	9,485t	5,223t

	散布・流し込量・面積		液肥タンク等
液肥販売散布量内訳	4,571t	101.25ha	652t



液肥散布機



平成30年度 京都八木産キヌヒカリ 栽培指針 (液肥利用特別栽培米)

月旬	11月~12月		4月			5月			6月			7月			8月			9月					
			上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
生育																							
主な作業	土づくり 耕起		JAで実施 温湯消毒			は種			代かき			箱処理 田植え 除草剤			有効分けつ期 中干し			幼穂形成期 出穂期 草刈			登熟期 刈取り期 仕上げ防除 落水 刈取り		
水管理																							
10aあたりの施肥例	元肥 秋又は春に液肥 4t/10a 床土消毒 ダコニール1000		ルーチンアドマイヤー 箱粒剤 50g/1箱			除草剤(いずれか一つ) ●バッチリジャンボ 400g/10a ●バッチリ1キロ粒剤 1kg/10a ●バッチリフロアブル 500ml/10a 田植直後から1週間以内の散布が効果的			取りこぼしのある場合 クリンチャー1キロ粒剤 1kg/10a			穂肥 液肥 1~2t/10a			仕上げ防除								
作業のポイント	1. 土づくり ○排水につとめる。 ○ワラ全量還元		2. 催芽・うすまきで充実した苗作り ○温度管理に注意する。 ○苗の軟弱徒長にならないよう一六〇g(箱当り)の種子更新の実施 ○催芽は催芽モミで			3. 太い茎を早くとる ○その後は浅水管理を基本とする。 ○活着までは、深水管理とし、4・5日は水を動かさないようにする。 ○除草剤散布後は深水として一株に三本程度の細植を励行 ○暖かい日に田植える。 ○強風、雨天、低温の日を避け田面を均平にする			4. 中干しは一株一八〇二〇本で倒伏防止と受光態勢の向上を中干しで丈夫な稲体をつくり、 酸素をたくさん取り入れて丈夫な根っこをつくるよ! ○ガス ○空気			5. いもち病防除と穂肥散布 ○行いましょう。 ○出穂の一週間前までに草刈りをと量を決めましょう。 ○葉色と生育に応じて穂肥時期症状が出た場合は、ご連絡を ○特別栽培米では途中でもいもち病			6. 一等米仕上げ ○一穂中の9割が黄色くなった頃 ○適期刈取りは、出穂後40日を目安 ○仕上げ防除でカメムシ被害を抑制 ○その後、間断かんがいを行う。 ○出穂期前後は、やや深水管理			7. 刈取、乾燥・調整 ○仕上水分は、十四・五十五％にする。 ○刈取後4時間以内に通風または刈取直前まで土壌水分がある状態 ○落水は、できるだけ遅らせて。					

南丹市の窒素利用考察

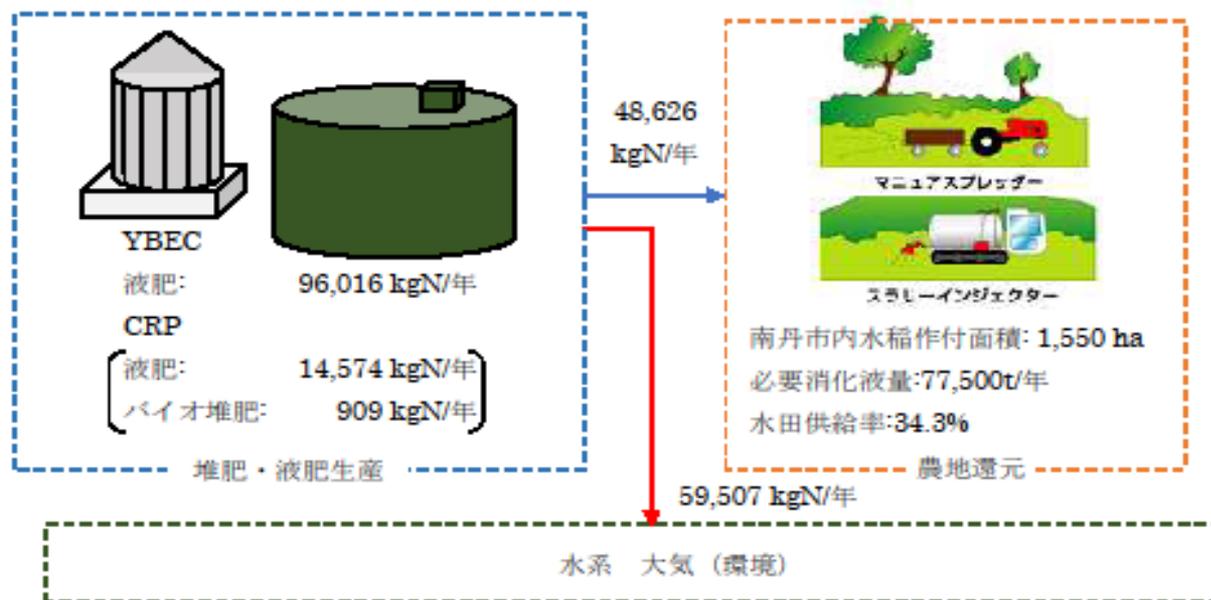


図3 現状での YBEC および CRP の窒素利用

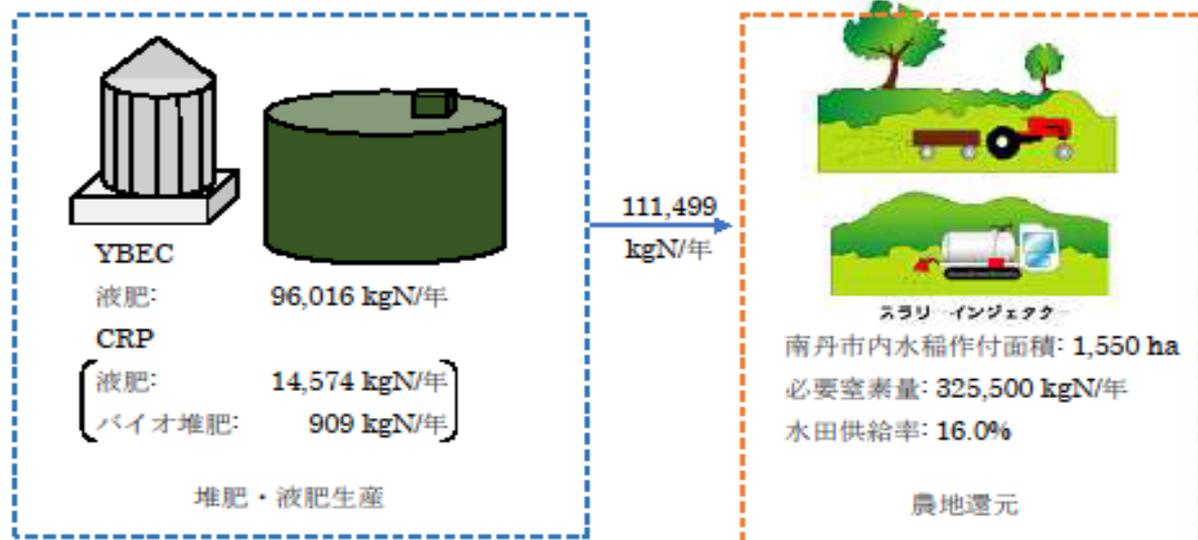


図4 理想的な YBEC および CRP の窒素利用

地域の所得循環構造

南丹市総生産(／総所得／総支出)1,363億円【2013年】

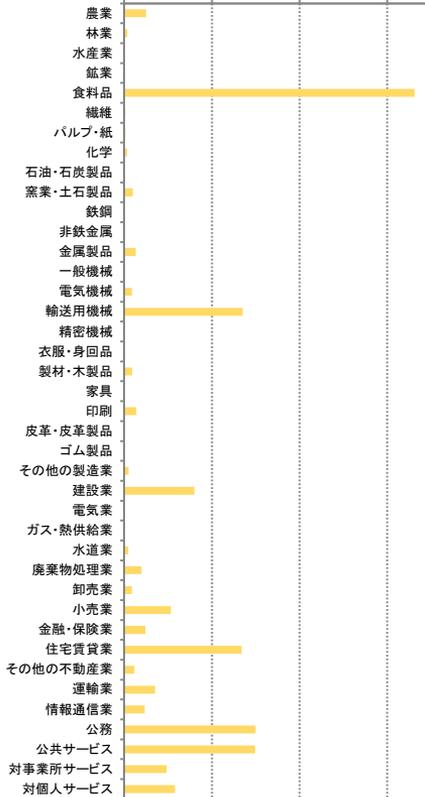
地域外

フローの経済循環

生産

産業別付加価値額

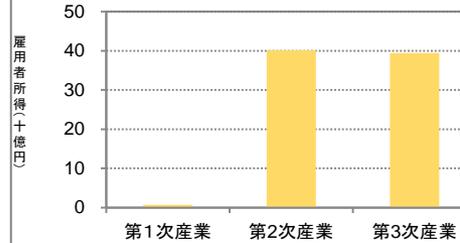
付加価値額(十億円)



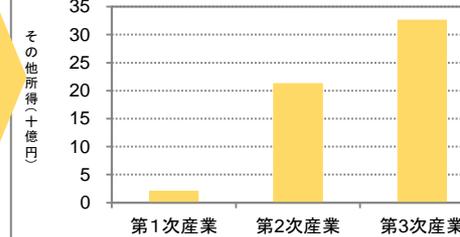
再投資拡大

分配

雇用者所得(802億円)

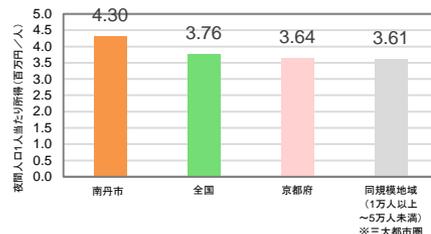


その他所得(561億円)



注) その他所得とは雇用者所得以外の所得であり、財産所得、企業所得、税金等が含まれる。

夜間人口1人あたり所得



支出

消費

1,191
億円

域際収支

-123
億円

移輸出

1,576
億円

移輸入

1,699
億円

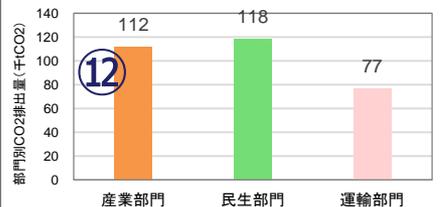
投資

295
億円

域際収支(十億円)



CO2排出量



民間消費の流入：
約10億円
(消費の約0.8%)

所得の獲得：
食品、輸送用機械、公務、
製材・木製品、印刷、窯業・土
石製品、廃棄物処理業、林業、
その他の不動産業、金属製
品

エネルギー代金の流出：
約80億円 (GRPの約5.8%)
石炭・原油・天然ガス：約3億円
石油・石炭製品：約47億円
電気：約24億円
ガス・熱供給：約5億円

注) 石炭・原油・天然ガスは、本データ
ベースでは鉱業部門に含まれる。
注) エネルギー代金は、プラスは流出、マ
イナスは流入を意味する。

民間投資の流出：
約15億円
(投資の約5.2%)

注) 消費 = 民間消費 + 一般政府消費、投資 = 総固定資本形成 (公的・民間) + 在庫純増 (公的・民間)

FIT終了後のYBECバイオマス事業

- YBECは、RPSで売電を行ってきたことからFIT
に変わる際RPS実施期間がカウントされ、8年余
りの令和3年11月5日で終了することとなる。
- FITは、39円/kW(バイオマス発電)であるが、
終了後は1桁の価格となり、現在260万円の収
益があるが、800～1,000万円の損失となる。
- 農畜産業系廃棄物を処理するバイオガス発電
は、排出事業者に処理経費を全て転嫁できな
いので、FIT終了後のバイオガス発電の運営が
厳しくなる。